



# LiniGage4

マルチチャンネル・エンジン・センタリング・ツール

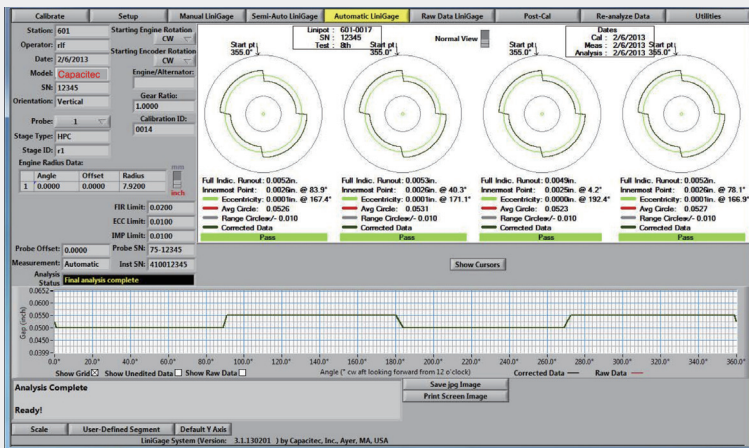
LiniGage4が最新世代のLGWAS、航空機エンジンロータ偏心再編システムを拡張しました。

特徴：

- ・ 4段階までのローター偏心と振れの同時測定
- ・ エアギャップ・プローブ（一チャンネルに一プローブ）の複数使用が、水平エンジン重力の影響が発生する時、アライメントと相対方位動作で大きく援助します。
- ・ Capacitec社はシングル・エンジン・ステージのLGWAS経験を拡張して、4ステージ・システムを作り上げました。



LiniGage4の電子ラック



LiniGage4：4プローブ・テスト結果が4つの極座標プロットとひとつの選択したストリップチャートに表示されます。

利点：

完全に組み立てたままの航空機エンジンの再構築センタリングを改良

一つのシステムを使用するギャップ、偏心、FIR（完全指定された振れ）の同時測定は、あらゆる新規エンジン・スタイルで容易にプログラムできます。

FIR(完全指定された振れ)への影響無で複数の内部グラインドの補正

極座標プロット上で各ステージからのすべての最終データを一緒にプロットするオプション

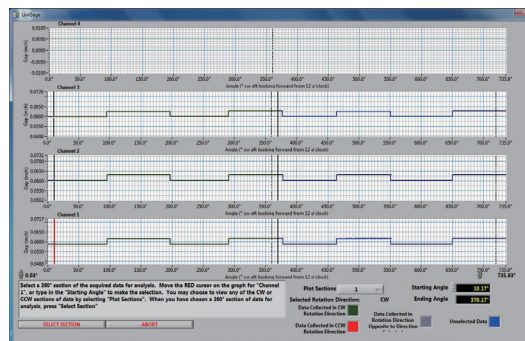
## LiniGage 4 標準システム



LGWASシステムと比較したLiniGage4の電子ラック。LiniGage4の電子ラックは上記写真の左側にあるLGWASシステムの上に見えているものです。

LiniGage 4 測定システムは以下を含んでいます：

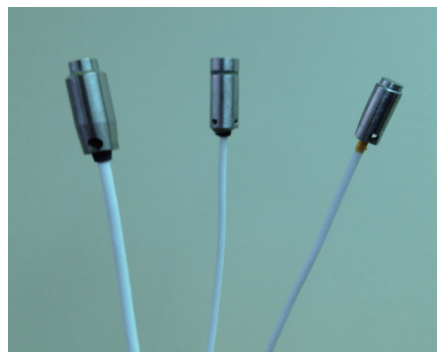
- ・ Capacitec HPC-75非接触変位プローブが、あらゆる4エンジン・ステージの先端に、一時的に取り付けられています。
- ・ PCのデータ転送用にセンサ信号を調節するため、Capteura 210-Sアンプ・カードが使われています。
- ・ LinGage4のカスタム仕様ソフトウェアがエア・ギャップ・バリューを取得し、偏心の大きさと角回転機能するFIRを計算しながら、ブレード対シュラウドの周りのギャップを極座標でプロットします。
- ・ 実際バリューは顧客の極限目標と比較したもので、永久的な品質記録を創り上げています。



リアルタイム・チャンネルで四つまで見えるストリップチャート



LiniGageキットに含まれるセンサ、電子ラック、ケーブル、CS-1カリブレーション・システム・モデル



LGWAS HPC-75 プローブ・ファミリー

**Capacitec**®

米国本社  
 Capacitec, Inc.  
 87 Fitchburg Road  
 P.O. Box 819  
 Ayer, Massachusetts 01432  
 USA  
 TEL: 978-772-6033  
 FAX: 978-772-6036  
 email: sales@capacitec.com  
 www.capacitec.com

ヨーロッパ本社  
 Capacitec Europe  
 16, rue Séjourné  
 94044 CRETEIL cedex  
 FRANCE  
 TEL: 33 1 43 39 48 68  
 FAX: 33 1 49 80 07 49  
 email: eurosales@capacitec.com  
 http://fr.capacitec.com